

# 競馬場への来場者が感じる競馬の魅力

## What factor really attracts the horse racing fan?

1K10C350-9  
主査 中村 千秋 先生

日野原 未葉  
副査 寒川 恒夫 先生

### 【緒言】

日本の公営ギャンブルの中で、比較的大きな市場規模を持つ競馬の魅力としてはじめに頭に思い浮かぶのは「ギャンブルとしての魅力」だと思われるが、実際にはレジャー性やスポーツ性も大きな魅力の要素となっている。

近年では公営カジノの設立も具体化に向けて進められており、それに伴う競馬市場の縮小が懸念されるが、そのような局面で人気を保ち続けるには、ギャンブルとしての魅力以外にレジャーやスポーツとしての魅力をアピールし、人々に実感してもらうことが重要である。

本研究は、競馬場まで足を運んで馬券を購入する者を対象とし、対象者達が、競馬にギャンブルとしての魅力以外に、レジャーやスポーツとしての魅力を感じているのかどうかを明らかにすることを目的とした。また、これをもとに今後の競馬人気持続及び向上のために提言することも目的とした。

### 【方法】

2013年10月26日から11月17日にかけて東京競馬場に来場した者381名（男性246名、女性135名）を本研究の対象者とし、競馬にどのような魅力を感じるかについてアンケート調査を実施した。調査項目は性別、年代、競馬の経験、競馬以外のギャンブルの経験、各ギャンブルを行う頻度、競馬にしかない魅力の有無、及び競馬にどのような魅力を感じるか、であった。アンケートは筆者自身が対象者に手渡しして回答を得たが、中には後述による回答、記録も含まれた。

競馬にどのような魅力を感じるかという質問に対する回答は、ギャンブル性、レジャー性、及びスポーツ性の3つの項目に分類して分析を行った。

### 【結果】

全回答者のうち競馬の経験がないと答えた者は12.6%であり、特に女性では20.7%であった。また、全回答者のうち83.5%が「競馬にしかない魅力がある」と回答した。さらに、「競馬にしかない魅力がある」と回答した者のうち具体的な競馬の魅力を問うた質問でギャンブル性、レジャー性、及びスポーツ性の項目に回答したのはそれぞれ38.4%、73.9%、及び46.9%であった。また、いず

れの項目も競馬の経験が「習慣的」、「ある」、「ない」と答えた者の順に回答率が高く、競馬の経験が多い者ほど様々な要素の魅力を競馬に感じていた。

また、競馬以外のギャンブルの経験が多い者は競馬のギャンブル性に魅力を感じる割合が高く、女性よりも男性の方が競馬のスポーツ性に魅力を感じる割合が高かった。

### 【考察】

女性来場者のうち20.7%の者が競馬の経験がないと回答したが、競馬の経験が多いほど競馬に対して様々な魅力の要素を感じていることから、競馬場に来場していながら馬券を購入していない人にも馬券を購入してもらい、競馬の魅力を実感してもらうことが、競馬市場の拡大に繋がると考えられる。

また今回の調査の結果、競馬場に来場した者の多くが「競馬にしかない魅力がある」と感じており、最も多くの人が魅力を感じているのが競馬のレジャー性、次いで競馬のスポーツ性であり、競馬のギャンブル性に魅力を感じている人は予期に反して最も少ないことがわかった。このように競馬場への来場者がギャンブル性以外にも魅力を感じていれば、将来において公営カジノなどが設立されても競馬市場の縮小を懸念する必要はないと考えられる。

さらに、競馬の魅力に関して、ギャンブル経験が多いことや、スポーツ観戦が好きであることなど、その人の持つ性質によって異なる魅力を感じる可能性が示された。そのため画一的な楽しみ方ではなく各人に合わせた様々な競馬の楽しみ方を提供することが、今後の競馬人気の持続及び向上のために必要なのでと考えられる。

### 【結論】

競馬場への来場者の多くが、競馬に他のギャンブルとは異なる魅力を感じており、競馬を単にギャンブルとしてよりもむしろレジャーやスポーツとしての魅力を強く感じていることがわかった。

また、競馬にどのような魅力を感じるかは、その人の持つスポーツ嗜好やギャンブル性向に左右される可能性があり、各人に合わせた楽しみ方を提供することが今後の中央競馬の発展に繋がると提言する。